

コメント提供者

PS瀬戸内株式会社 代表取締役 石原達也

コメント

本事業の最大の成果は民間の健康にかかわるサービスを提供するフィットネス、薬局、病院、スポーツ用品・補助具店、飲食店、小売、新聞などがそれぞれの強みを活かして協働して取り組み、中には協業としてのサービス提供なども行ったこと、そうしたプラットフォームとして本事業が機能したことだと思います。

一方で、それには当然、コーディネートが必要で、その役割を中間支援組織として担わせていただいた当方としては、参加者募集や登録・コミュニケーション、企業間のコーディネート、市と調整、出資者とのコミュニケーションなど、多くのステークホルダーに係るからこそその苦労はありました。しかしながら、それが、世間（行政）よし・売り手（企業）よし・買い手（市民）よしの三方よしに出資者を加えた四方よしに繋がったと思います。おそらく国内のSIB事業でこれだけステークホルダーが多く、かつ配当含めて達成した事例は少ないのではと思います。

目標設定、評価、座組、出資に係るコストなど、まだまだSIBには課題もありますが、協業のプラットフォームとしてだけでも地域に大きな価値があるのではと思います。ぜひ他業種連携で取り組まれることをお勧めします。